

# 令和4年度(2022年度) 公益財団法人千里リサイクルプラザ事業報告書

地球温暖化防止等を含む環境への負荷を少なくする循環型社会の構築に向け、人々が環境に配慮したライフスタイルを実践し、また環境保全を定着・促進するため、市民の参加のもとに次の事業を計画しました。

本年度においては、新型コロナウイルス禍は途中、変異株であるオミクロンの新たな派生型BA.5の蔓延なども懸念されましたが、全体として徐々に下火の傾向が見られてきました。その中にあっても、市民の安全確保を最優先として行政(吹田市)の指示に基づき感染拡大防止のため、3密回避の対策の徹底に努め、以下の通り事業を実施しました。

また令和4年は財団設立30周年の記念すべき年にあたり、吹田市他の出捐者(社)並びに当財団の環境啓発活動にこれまでご尽力いただいた関係各位にご参集いただき、6月26日(日)にはくるくるプラザマルチホールにて記念式典を開催しました。

## 1. 公益目的事業として、次の事業を実施しました。(公1)

### (1) 啓発・普及活動に関する事業

#### ア. 市民工房の運営(受託事業)

各工房において、市民の日常生活に密着し、修理・再生により使い続けることのできる物品の展示事例と、もったいない精神に裏付けられた技術伝承の場の提供や確保を主たる目的として活動を行いました。新たに各工房での啓発活動においてCO<sub>2</sub>削減の観点も明確に据えて、来館者が楽しみ学びながらリユース・リサイクルできるように、修理・再生・リフォームの助言・指導を行い、各工房で再生した成果品を展示しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、消毒はもとより施設内で密集が予想される市民工房には飛沫防止用透明スクリーンの設置によるソーシャルディスタンス確保等、3密回避への対応に努めて実施しました。

工 房 名	対象品	見学者数	実技受講者数 (再掲)	成果品展示数
布工房	衣類	1,799名	1,694名	43点
緑工房	紙パック	1,051名	1,001名	15点
自転車工房	自転車	259名	192名	110点
木工工房	家具類	1,759名	1,358名	226点
合 計		4,868名	4,245名	394点
合 計 (前年度)		3,793名	3,333名	466点

#### イ. 視察・見学者の対応(受託事業)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1回の見学人数の制限や中央操作室の入室見合わせ等、3密回避に努めながら実施しました。

区 分	団 体 数	人 数	前 年 度	
			団 体 数	人 数
小～大学生	46団体	4,178名	27団体	1,840名
市民団体	9団体	144名	5団体	78名
行 政	4団体	55名	2団体	15名
民間企業	4団体	62名	3団体	15名
海 外	1団体	9名	0団体	0名
計	64団体	4,448名	37団体	1,948名

ウ. 脱温暖化啓発に関する事業(受託事業)

① 原始力発電コーナー

自力で自転車を漕ぎ、イルミネーションを点灯させたり電車の模型を走らせる自家発電体験を提供する原始力発電コーナー及び温暖化防止に関連したエコ人間すごろくは、その一部を8月のEXPOCITYの吹田市情報発信プラザ(インフォレストすいた)でのフェア「エコとすいた くるくるプラザであそぼう」に出展し、参加者が楽しみながらエコを体験しました。(次項の出張展示会参照)

② 環境啓発動画コンテスト

実施日	内 容	対象者	応募作品及び受賞作品数	
			本年度	前年度
応募期間 8月2日(火)～ 11月1日(火)	地球温暖化防止、食品ロス、海洋汚染をテーマとする動画を募集し、HP上での人気投票を実施	市民	応募作品数 74作品	応募作品数 42作品
投票期間 11月18日(金)～ 12月16日(金)				
応募作品審査 12月16日(金)	専門家の意見を参考に、応募作品の審査を実施		優秀賞 1作品 奨励賞 3作品	優秀賞 2作品 奨励賞 2作品

エ. 展示等に関する事業(受託・自主事業)

① 展示コーナーの常設(受託事業)

市民工房で再生した成果品や市民研究所の環境出前講座等で使用する教材の一部をホワイエに、またB棟5階展示室では「すいたのごみの歴史」を常設展示しました。

② 出張展示会(受託事業)

8月1日(月)から8月30日(火)までEXPOCITY内の吹田市情報発信プラザ(インフォレストすいた)で「エコとすいた くるくるプラザであそぼう」展を実施し、のべ1,930人が訪れました。新聞紙すいたん、そらくる号の展示の他、エコクイズ、原始力発電自転車体験、また19日(金)には手作りおもちゃと環境ATによる紙バックでのおもちゃ作り体験を実施し好評を博しました。

1月16日(月)から20日(金)にかけては、吹田市役所本庁1階ロビーにおいて市民研究所各チームの活動を初め、プラザの多岐にわたる環境啓発活動を紹介するパネルを展示しました。ロビー入口には新聞紙アートのすいたんも展示し、市役所を訪れる市民に向けた広報に努めました。

また1月21日(土)、22日(日)両日に環境教育フェスタのプレイベントとして、イズミヤ千里丘店にて、くるくるプラザの紹介パネル展示をしました。

③ あげます・もらいますコーナーの利用状況(受託事業)

休館時及びコーナー準備のための休止や設営期間を除き実施しました。特に通常の活動に加え、コーナーが閉室となるイベント開催日(5月15日(日)、3月12日(日))にも、登録なしで参加できる、もらいます体験を併せて実施しました。

品 目	持ち込み品	持ち帰り品	
衣 類	14,533点	10,191点	
食 器	5,875点	5,187点	
合 計	20,408点	15,378点	
件 数	876件	1,841件	
前年度	数量	17,111点	12,103点
	件 数	624件	1,496件

④ 再生成果品等の販売(自主事業)

再生成果品及びセカンド品を常時販売しました。また、自転車は毎月の抽選での販売を実施しました。

工房名	対象品	成果品販売数	販売時期	販売品目	内容
市民工房1	衣類	42点	常時	衣類のリフォーム品 紙すき製品 木工小物	市民工房において再生した成果品を販売。
市民工房2	紙パック	9点			
市民工房4	自転車	115点	毎月	自転車	毎月1回の抽選販売。売れ残りは随時販売。
市民工房6	家具類	220点	9月 3月	家具	抽選販売。売れ残りは随時販売。
合 計		386点			
合 計 (前年度)		337点			

対象品	販売数	前年度	販売時期	販売品目	内容
セカンド品 (未使用の市民提供品)	1,775点	1,254点	常時	セカンド品	市民から提供を受けた未使用の衣類・食器を販売。

らっくdeプリマ 出店期間	来室者数	出店数	出店形式	出店内容
第1期 R4. 4～R4. 6	1,616名	53店舗	4段ラック 3段ラック 2段ラック ハンガーラック	市民の方に場所を提供し、使わなくなったものなどリメイク・リユース品を中心に展示し、低額で販売
第2期 R4. 6～R4. 8	1,147名	54店舗		
第3期 R4. 9～R4.10	1,385名	54店舗		
第4期 R4. 11～R5. 1	1,082名	54店舗		
第5期 R5. 1～R5. 3	1,116名	50店舗		
合 計	6,346名	265店舗		
合 計 (前年度)	5,002名	201店舗		

オ. 市民・企業参画事業(受託・自主事業)

① 万博ごみゼロウォーク(受託事業)

市民、事業者、行政、市民研究員、プラザが協働して万博外周道路をウォーキングしながら散在ごみを回収・調査する万博ごみゼロウォークは、年々ごみ量が減少し当初の目的を達成したとして、万博ごみゼロウォークファイナルの名の下に11月12日(土)に最後の開催をしました。ファイナルには千里金蘭大学、大阪学院大学の学生ボランティアを含む55名のサポートも受け、17団体、個人及びスタッフを併せて総勢309名が参加し有終の美を飾りました。

尚、令和5年度は新たにかえっこバザールを中心とした、もったいないバザール(仮称)を市民・企業参画イベントとして実施することになっています。

実施日	参加者		回収したごみ(分類別収集量)			
	団体数	人数	缶	びん	ペットボトル	燃焼ごみ
11月12日(土)	17団体	309名	48個	8本	48本	90kg
令和元年(注2)	32団体	404名	129個	34本	215本	83kg

(注1)

(注1) 参加者数の人数にはスタッフを含みます。

(注2) 令和2年と令和3年はコロナ禍により実施を見送ったため、令和元年を参考実績として記載しています。

② 他団体との協働事業(自主事業)

8月18日(木)に、大阪大学環境サークルGECSと協働で、子どもたちが協力し合いSDGsに関する謎解きを楽しみながら、環境問題への興味・関心を持つことを目標とする「GECSクエスト ～環境王への道～」をプラザ施設内で開催し、親子連れで14名の参加がありました。

また12月4日(日)には、おおさか多胎ネットとともにプラザが共催として携わり、多胎児サークル2団体(さくらんぼ、双子サークルジェミニ)による双子三つ子フリーマーケットがマルチホールで開催されました。尚、開催にあたっては新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マルチホールへの入室者数は最大でも定員の半分以下となるよう、入替制(3組)とし事前検温・消毒・マスク着用も徹底し、参加者の安全確保に努めて実施しました。

カ. 環境実践教室の開催(自主事業)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため3密回避に努め、市民が楽しみながら資源の再使用や再生利用を体験できるように以下の環境実践教室を実施しました。

教室名	1教室当 開催日数	実施回数	受講者数	延受講者数	前 年 度			
					実施回数	受講者数	延受講者数	
(注1) 布	布のリメイク1日	1日	5回	35名	35名	4回	28名	28名
	布こもの	1日	2回	2名	2名	2回	7名	7名
(注2) ガラス 工芸	バーナーワーク初心者	1日	134回	69名	69名	118回	57名	57名
	バーナーワーク自由3回	3日		39名	49名		5名	15名
	フュージングアクセサリー	1日		95名	95名		103名	103名
	フュージングオブジェ	1日	54回	66名	66名	70回	61名	61名
	サンドブラスト	1日		42名	42名		24名	24名
	3Dペイント	1日		7名	7名		16名	16名
陶芸	陶芸3回	3日	6回	18名	54名	8回	19名	57名
	陶芸2回	2日	6回	4名	8名	8回	12名	24名
	陶芸初心者2回	2日	4回	15名	30名			
	陶芸形成	1日				5回	41名	41名
	陶芸夏休み2回	2日	2回	18名	36名	2回	19名	38名
	陶芸夏休み絵付	1日	2回	13名	13名	2回	20名	20名
	陶芸夏休み形成	1日						

(注3)

家具・木工	木工1日	1日	5回	16名	16名	3回	11名	11名
	夏休みこども木工	1日	4回	66名	66名	4回	68名	68名
手作りおもちゃ	オイル万華鏡	1日	2回	20名	20名	2回	19名	19名
イアシルトクレ	クレイシルバー3回	3日	12回	48名	100名	10回	19名	57名
	クレイシルバー初心者	1日	12回	10名	10名	10回	3名	3名
クラフト	革小物	1日	48回	50名	50名	22回	24名	24名
その他	廃ダンボール工作	1日	4回	55名	55名	4回	61名	61名
	尾舞鳥工作	1日				1回	10名	10名
	包丁研ぎ	1日	2回	21名	21名			
	キラキラ時計	1日	1回	4名	4名			
	クラフト製作	1日	2回	26名	26名			
	LED作品制作	1日	2回	26名	26名			
施設見学後の体験	布体験	1日	6回	54名	54名	4回	41名	41名
	木工体験	1日	8回	83名	83名	3回	29名	29名
	(紙すき体験)	1日				6回	101名	101名
くるくる体験	布体験	1日	6回	60名	60名	7回	54名	54名
	陶芸体験(絵付け)	1日	6回	122名	122名	7回	133名	133名
	ガラス工芸体験	1日	3回	97名	97名	5回	143名	143名
	木工体験	1日	6回	76名	76名	7回	88名	88名
	レーザークラフト体験	1日	3回	42名	42名	2回	30名	30名
合 計			347回	1,299名	1,434名	316回	1,246名	1,363名

(注1) 正式な教室名称は「布のリメイク」となります。

(注2) ガラス工芸は同日の排他的選択実施のため、実施回数は1つにまとめて表記しています。

(注3) 本年度より施設見学後の紙すき体験は環境出前講座として実施し、環境実践教室から除外しています。

#### キ. イベントの開催(自主事業)

##### ① フェスタ

不特定多数の参加者が想定され、新型コロナウイルス感染拡大防止のために必要な3密回避が困難な状況を考慮して、本期間中のフェスタは事前予約制のくるくるワークショップとして開催しました。

事業名 (当初予定)	実施日	内 容	参加者数(注1)	前年度 参加者数
くるくる春が きたフェスタ				98名
くるくるキッズ フェスタ	5月15日(日)	<p>児童福祉週間のある5月に子どもを中心に地球環境保全や3Rの輪を広げるために、キッズあげもらフェアを中心とするフェスタを計画していましたが、コロナ禍における3密回避が困難なため、くるくるワークショップを実施しました。</p> <p>実施にあたっては消毒、検温を行い、参加者の氏名、人数や連絡先を把握できる事前予約申込制により、来館者保護を徹底してソーラーカー乗車体験、くるくる体験他を提供しました。</p>	210名	緊急事態宣言発出期間中のため、施設休館により未実施。
くるくる 夏フェスタ	8月21日(日)	<p>親子で参加しやすい夏休み期間中に、地球環境保全や3Rの輪を広げるためにフェスタを計画していましたが、コロナ禍における3密回避が困難なためこれに代え同日にくるくるワークショップを実施しました。</p> <p>実施にあたっては消毒、検温を行い、参加者の氏名、人数や連絡先を把握できる事前予約申込制により、来館者保護を徹底してくるくる体験や廃段ボール工作等を提供しました。</p>	208名	164名
くるくる 秋フェスタ	9月18日(日)	<p>地球環境保全や3Rの輪を広げるための再生家具オークションを中心としたフェスタを計画していましたが、コロナ禍における3密回避が困難なため、再生家具は抽選販売とし、消毒、検温を徹底し、参加者の氏名、人数や連絡先を把握できる事前予約申込制によるくるくるワークショップを同日に実施し、ソーラーカー乗車体験、くるくる体験、LED作品製作、学生によるブース等の提供を行いました。</p>	150名	75名
くるくる ハロウィン	10月23日(日)	<p>地球環境保全と3Rの輪を広げるために、年1回の大フリーマーケットを開催する予定でしたが、コロナ禍における3密回避が困難なため、くるくるワークショップを実施しました。</p> <p>実施にあたっては消毒、検温を行い、参加者の氏名、人数や連絡先を把握できる事前予約申込制により、来館者保護を徹底してソーラーカー乗車体験、くるくる体験や廃段ボール工作他を提供しました。また感染対策の下でハロウィン仮装やお菓子のすくい取りも行いました。</p>	234名	112名
くるくる クリスマス	12月11日(日)	<p>クリスマスの時期に合わせて、特に子どもを中心とした地球環境や3Rの輪を広げるために、原子力発電自転車のクリスマスイルミネーションの点灯、かえっこバザール等を開催する予定でしたが、コロナ禍における3密回避が困難なため、くるくるワークショップを実施しました。</p> <p>実施にあたっては消毒、検温を行い、参加者の氏名、人数や連絡先を把握できる事前予約申込制により、来館者保護を徹底してくるくる体験や廃段ボール工作、すいたおはなしの会によるお話、影絵他を提供しました。</p>	123名	141名

くるくる 春フェスタ	3月12日(日)	気候の良い春の日にフェスタを計画していましたが、コロナ禍における3密回避が困難なため、消毒、検温を徹底し、且つ参加者の氏名、人数や連絡先を把握できる事前予約申込制によるソーラーカー乗車体験、くるくる体験を中心とした、くるくるワークショップを実施しました。	138名	109名
合 計			1,063名	883名(注2)

(注1) 本年度の参加者数は当日の来館者実数を記載しています。

(注2) 前年度は11月21日にくるくるコレクションをくるコレフェスタ(くるくるワークショップ)として開催したため、前年度合計にはその参加者数184名を含めています。

## ② おもちゃ病院

飛沫防止用透明スクリーンの設置等、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に努めながら、市民の持ち込んだ壊れたおもちゃを、おもちゃドクターが即日又は入院修理し、リユースの啓発活動を行いました。

実 施 日		修 理 件 数	前年度修理件数
第1回	4月17日(日)	12件	5件
第2回	5月15日(日)	18件	緊急事態宣言発出期間中のため、施設休館により未実施。
第3回	6月19日(日)	15件	
第4回	7月17日(日)	10件	16件
第5回	8月21日(日)	21件	11件
第6回	9月18日(日)	17件	8件
第7回	10月23日(日)	20件	12件
第8回	11月20日(日)	5件	9件
第9回	12月11日(日)	9件	14件
第10回	1月15日(日)	21件	16件
第11回	2月19日(日)	13件	13件
第12回	3月12日(日)	13件	14件
合 計		174件	118件

③ くるくるコレクション

令和3年度まではイベント時の催しとして開催していましたが、令和4年度は30周年記念特別企画「くるくるコレクションリサイタル」として単独開催しました。また脱プラスチック啓発のパネル展示も行いました。

実施日	内 容	対象者	応募作品及び受賞作品数	
			本年度	前年度
応募期間 9月21日(水)～ 10月9日(日)	リメイク・リユースされたものを中心とする着物をリメイクした洋服、小物、端材で作った木工作品、壊れた陶器を利用した陶芸作品、空き缶、ペットボトル、段ボール等で作ったオリジナル応募作品を展示。	市民	応募作品数 37作品	応募作品数 42作品
投票期間 10月20日(木)～ 11月20日(日)	今年度は30周年記念企画として、SDGsの目標14「海の豊かさを守ろう」のマイクロプラスチック問題を踏まえたプラスチック素材の使用作品をメインに募集。			
応募作品審査 11月20日(日)	展示会場及びインターネットでの市民の人気投票の合計獲得票数を基に、プラザ執行役員及び事務局が最終審査し優秀作品を選出。		くるコレ理事長賞 1作品 くるコレ人気大賞 1作品 くるコレアイデア賞 5作品 くるコレキッズ大賞 1作品	くるコレ理事長賞 1作品 くるコレ人気大賞 1作品 くるコレアイデア賞 4作品 くるコレキッズ大賞 1作品
リサイタルと表彰式 11月27日(日)	優秀作品の制作者が自ら制作意図や制作過程での工夫等を会場で説明後、表彰式を挙げる。			

④ 食ロスあげます・もらいます

当施設の目的の一つである「ゴミ排出量抑制」を進めていくため、10月の食品ロス削減月間において、来館者に家庭で賞味期限の比較的近い品物を再確認し、食品ロス削減取組の意識を持ってもらう機会を提供しました。これらの取組を通じて食品ロスについてわかりやすく伝え、食品を無駄にしないという意識啓発の一助として今後とも継続して取組んでいく予定です。

実施日	内 容	対象者	食品の預かり数及び持ち帰り数	
			本年度	前年度
開催期間 10月1日(土)～ 11月30日(水)	食品ロスを削減することをテーマに、くるくるプラザ館内のショッピングエリアに食品ロス削減チャレンジコーナーとして食品庫(零蔵庫＝れいぞうこ)を設置。  賞味期限間近のものや沢山買いすぎたために食べ切ることが困難な未開封食品などを集め、それを必要とする人が持って帰ることのできる「食ロスあげます・もらいます」実施。	市民	食品の預かり数 243点  食品の持ち帰り数 139点	/



ク. リユース食器貸出に関する事業(自主事業)

		件数	食器類	箸等	前年度		
					件数	食器類	箸等
貸出	吹田市内	3件	570点	0点	0件	0点	0点
	吹田市外	13件	9,131点	4,585点	3件	775点	500点
合計		16件	9,701点	4,585点	3件	775点	500点
洗浄作業受託(注)		1社	10,109点	0点	2社	5,844点	0点
総計			19,810点	4,585点		6,619点	500点

(注) 他の法人・団体が有するリユース食器の洗浄作業を受託するもの。

(追加報告)

近隣の類焼によるNPO地域環境デザイン研究所ecotoneのリユース食器洗浄機の被災救済協力として、令和4年12月にプラザ所有の食器洗浄機の使用(有償)を許可しました。なお、被災からの復旧状況を考慮し今回の協力は令和5年3月までとしています。

	食器類	箸数 (ラック洗浄回数)
洗浄機使用	24,027点	3回

ケ. 会員(プラザメイト)に関する事業(自主事業)

ごみ問題や地球温暖化などの環境問題をより多くの人々に理解してもらい、つながりを広げてゆくため会員(プラザメイト)を募集しました。会員には財団が発行する情報紙や、各種催しの案内を送付しました。

(2) 調査研究・情報提供に関する事業

ア. 調査・研究及び実践活動(受託・自主事業)

① 市民研究員による吹田市主催等のイベントへの参画(受託事業)

吹田市ごみ減量再資源化推進会議に市民研究員の打越明美、福田規子の2名が参加しました。なお会長には当財団の市民研究所主担研究員である三輪信哉氏が互選されました。

事業名	主催団体名	実施日	内容	会場
第1回吹田市ごみ減量再資源化推進会議	吹田市	7月1日(金)	吹田市のプラスチックごみに関する取り組みについて報告	千里山コミュニティセンター
すいた環境教育フェスタ	吹田市	2月5日(日)	ぐるぐるプラザの紹介と市民研究所の環境啓発活動紹介	メイシアター
第2回吹田市ごみ減量再資源化推進会議	吹田市	2月13日(月)	フードドライブの取組報告、ごみ減量に向けた取り組み交換	千里山コミュニティセンター

② 市民研究員による調査・研究及び実践活動(自主事業)

市民研究員がテーマごとにチームを組織し、生活者の視点で調査・研究を行うとともに、啓発・普及のための実践活動を行いました。

プロジェクトチーム(PT) アクションチーム(AT)	活動目標と内容	開催数
市民とお店をエコでつなぐ	<p>「プラスチックごみ削減」をテーマとして研究する。また「食品ロス削減」についても、「食品すごろくゲーム」を通じて多くの市民に分かりやすく伝える研究を進める。</p> <hr/> <p>①定例会で「プラごみ削減」の訴求・告知活動の進め方について話し合い、啓発用ポスター作成の検討を行ったが、より効果的と考えられる「すごろくゲーム」作成に取り組んだ。            ②環境出前講座(クラブ支援)に提供する「プラスチックごみ」と「すごろくゲーム」の改良に係る追加修正作業を実施した。            ③環境出前講座(クラブ支援)に提供する「ふるしきの活用」については動画を試作したが、試写会で不十分な点が多く判明し再度撮影を行い、修正作業中である。今後は、令和5年度中にHPに掲載していく。            ④吹田市環境部へのプラスチックごみに係る質問状の回答から、市はプラスチックごみの分別を検討しているが現時点で具体的な施策は決定しておらず、むしろ排出抑制に重点を置いていることがわかった。            ⑤亀岡市へのプラスチックごみに係る質問状の回答を再三は要請したが回答がなかった。            ⑥家電リサイクル工場見学について検討を行った。</p>	43回
PT (プロジェクトチーム) 吹田ごみゼロシステム研究	<p>ごみゼロ(すてるをなくす)へのシステム研究            ①ごみゼロに向けた新たな「仕組み」に関する課題の解明。            ②調査研究にともなう情報発信のより有効な手法を研究。</p> <hr/> <p>①プラスチック問題のテーマは多様でメンバー全員で考え議論するため定例会開催回数を増やした。            ②各メンバーが自身の研究テーマ、進め方等につき報告し、主担研究員の指導助言の下で必要な計画修正を実施した。            ③吹田市との情報交換の進め方についても協議した。            ④ブログ更新については、ブログアップ手順の確認と積極的な更新ができる方法について議論した。その結果、輪番制を取り入れ、週1回程度、定期的な更新ができるようになっていく。            ⑤研究実践発表会で報告する内容について検討し、個別のテーマと全体のテーマを明確にした。            ⑥研究報告書作成に向けて、タイムスケジュールを設定し、提出期限内に原稿作成できる体制を話し合った。</p>	31回
身近な環境を調べよう	<p>吹田市の糸田川の環境を調べ、特にごみを少なくしていくための啓発活動を行う。</p> <hr/> <p>①3年計画の最終年度となる糸田川の調査を実施した。            ②糸田川調査の動画作成に向けシナリオを完成し、撮影実施後に動画編集や音入れ作業(ナレーション、コメント、BGM)を行い、HPにアップロードした。            ③出張展示用のパネル作成について話し合い、みんなが見やすいパネルを作成することができた。            ④チーム内の会議により、次年度から市内の池の調査実施を計画し、釈迦池、水遠池、菩提池、牛ヶ首池、春日大池、蓮間池を対象とすることに決定した。            ⑤くるくる環境スクール修了生に対して、本PTの活動をアピールする方法を話し合った結果、現地調査に参加してもらい活動を実際に体験してもらった。            ⑥年4回(4月、7月、10月、1月)「池の観察チェックシート」を用いて調査することを決定した。</p>	33回

P T  ( プ ロ ジ ェ ク ト チ ー ム )	SDGs啓発	SDGs啓発のための有効な活動を考える。 <hr/> ①環境出前講座(クラブ支援)におけるエコゲームの内容、またくるくる環境スクールでのカードゲームの内容についてそれぞれ検討し、チーム内で役割を決めた。 ②代表者が受講した研修講座の中から、SDGsカードゲームをチームメンバーに紹介し、今後の方針としてチーム独自のカードゲーム作成についても検討したが、まずは既存のカードゲームの活用から進めていくことにした。 ③NEWエコゲームについて、完成形を想定してその内容・進め方について話し合ったが、個人の力量に頼ることが多いため、根本的に考え直す必要がある。 ④PT内での今後の運営方法や各メンバー間の距離感を縮める方策についてチーム内で話し合った結果、ソファのある情報スタジオでの定例会を実施し、和やかに進められるようになってきている。 ⑤小学校のクラブ支援だけでなく、今後は公民館講座やPTA研修講座等において、SDGs啓発のための環境出前講座を広げていけるよう広報活動をしていく。	33回
A T	紙すき体験と環境	紙すきを通じて、小学生及び一般市民へ環境問題の啓発を行う。 <hr/> ①紙すきに特化したATとして、市内小学校3校に対して紙すき体験活動を実施した。令和5年度からは4校で実施していく。 ②メンバーが8名に増え施設見学後の体験学習も円滑に実施できた。 ③紙すきは森林問題を考える取組みの手段であることを理解してもらうために、体験実施前に受講者には森林資源の大切さや3Rについてパワーポイントを使いしっかりと説明を行った上で、コロナ禍の感染対策を徹底しクラブ支援、施設見学後の体験学習、くるくるキッズ環境スクール、くるくる環境スクール等の場で実施した。	30回
( ア ク シ ョ ン チ ー ム )	手作りおもちゃと環境	廃品を再利用した手作りおもちゃの指導を通じ、ごみの減量化と環境問題の啓発・意識向上を図る。3年目となる今年度は児童のおもちゃ選定を最終集計し、結果分析を実施の上で有効性を判断し集約する。 <hr/> ①小学校のクラブ学習支援については、担当の先生の協力や児童の積極的な参加を受けて順調に活動が進んだ。 ②プラザでのフェスタ(本年度はくるくるワークショップとして実施)では、低学年児童の参加が多く、どのように環境啓発を進めるのが課題であり、実施後の保護者からのアンケートを参考に指導方法を検討した結果、視覚的な支援として作り方・遊び方の動画作成を行うことにした。 ③児童の興味を今後とも保つためにも、新たなおもちゃ作りの開発を検討しメンバーのスキルアップにも努めた。新メンバーも増えるため、今後も継続して実技研修等を行っていく。 ④ATとしてメンバーの参加率も高く、しっかりした協力体制が築け円滑に運営を行うことができた。 ⑤コロナのため、実現できなかった外部研修(万華鏡ミュージアム)を計画し、令和5年度初めに実施することを決定した。	57回

A T  (ア ク シ ョ ン チ ー ム)	マイ食器啓発	<p>令和7年を目途に財団オリジナルマイ食器を開発して、脱プラスチック啓発活動を推進していく。</p> <hr/> <p>①9月9日(金)の研究運営委員会でのマイ食器啓発アクションチームの立ち上げ承認を受けて、毎月第4金曜日に定例会を開催した。 ②マイ食器として、保有しているリユース食器活用の可能性や、新たにコンパクトな食器を作成する場合についてどのように進めて行けばよいのか話し合った。 ③当面の課題はメンバーの増員確保であり、環境スクール修了生から新たなメンバーを募集したが加入はなかったが、一方令和5年度からは他のチームから1名が加わることになり、メンバー4名でスタートすることになった。 ④ホームページだけでなく実物の見本を提示する場を設けるなど、マイ食器啓発チームの活動に興味関心をもってもらえるような手だてを話し合った。</p>	7回
	合 計		234回
合 計	( 前 年 度 )		129回

ぐるぐるつながり広場	<p>ぐるぐる環境スクール修了生を主たる対象として、12月17日(土)、1月7日(土)の計2回、つながり広場を開催した。参加者は各チームの活動紹介を熱心に聞くだけでなく、定例会を見学したり、環境出前講座(クラブ支援)等にも出向いて、活動の様子を見学した。その結果、修了生17名中8名の修了生が市民研究員としてチームに参加することとなった。</p>	2回  (3回)
------------	---	----------------

( )内は前年度

イ. 研究報告書の発行に関する事業(自主事業)

令和3年度の市民研究所各プロジェクトの研究成果等を研究報告書としてまとめ、6月に発行しました。

ウ. 機関紙「しみんけんきゅうニュース」の発行(自主事業)

市民研究員の調査・研究、実践活動を中心とした機関紙「しみんけんきゅうニュース」の発行及びホームページへの掲載を行いました。

号 数	No.	発行部数	配 布 先
2022年5月号	309号	各850部	市民研究員をはじめ、来館者や地区公民館、その他関係団体に配布しました。
2022年7月号	310号		
2022年9月号	311号		
2022年11月号	312号		
2023年1月号	313号		
2023年3月号	314号		

エ. 情報紙「くるくるプラザ」の発行(自主事業)

一般市民で構成したスタッフが情報収集し編集した、環境問題に関する身近で役立つ情報を中心とした情報紙「くるくるプラザ」を次のとおり発行し、ホームページにも掲載しました。

号数	発行月	発行部数	配布先
92号	7月	各1,500部	市民研究員をはじめ、来館者や地区公民館、その他関係団体に配布しました。
93号	11月		
94号	3月		

オ. 図書・雑誌等の閲覧コーナーの常設・貸し出し及びホームページの公開(自主事業)

図書・雑誌などの閲覧コーナーについては、新型コロナウイルス禍による休館時を除き、開館時に貸し出を行いました。また財団ホームページの公開を行いました。

(3) 講演・講座の開催及び環境学習の支援に関する事業

ア. 講演会の開催(受託事業)

財団設立30周年記念式典後に、記念基調講演及びパネルディスカッションを実施しました。

事業名	実施日	内容	参加者数	会場
環境問題講演会	6月26日(日)	30周年記念基調講演 「千里リサイクルプラザ、これまでの30年、これからの未来に向けて」 講演者 三輪信哉 主担研究員	76名 (注1)	プラザ マルチホール
		パネルディスカッション 「これまでの30年間と未来について思うこと」 コーディネーター 小幡範雄 市民研究所長 パネリスト 三輪信哉 主担研究員 金子幸平 市民研究員 福田規子 市民研究員 岡田千代子 工房指導員 楠本直樹 吹田市環境部次長		
計		1回	(27名)	(注2)

(注1) 事務局他スタッフを含む参加者総数は101名となります。

( )内は前年度

(注2) 事務局を含む参加者総数は33名となります。

イ. 入門講座・研修講座の開催(受託・自主事業)

① くるくるキッズ環境スクール(受託事業)

事業名	実施日	内 容	対象者	参加者数	会 場
くるくるキッズ環境スクール	7月16日(土)	開講式 環境出前講座 (ふろしきの包み方、手作りおもちゃ)	受講者	21名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[3名]	
	8月4日(木)	親子見学バスツアー	受講者	21名	兵庫県立 人と自然の博物館
			[スタッフ]	[3名]	
	8月18日(木)	工房体験(木工、紙すき)	受講者	20名	プラザ緑工房 プラザ木工工房 プラザB棟4階 ホール
			[スタッフ]	[3名]	
	9月10日(土)	自然体験	受講者	15名	万博記念公園 日本庭園
			[スタッフ]	[3名]	
	11月19日(土) (午前)	SDGsについて考えよう	受講者	16名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[3名]	
	11月19日(土) (午後)	環境かるた、閉校式	受講者	19名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[3名]	
計	6回		のべ 受講者数	112名	(3回 33名)

(注)参加者数には保護者数も含まれます。

( )内は前年度

② くるくる環境スクール・研修講座(自主事業)

事業名	実施日	内 容	対象者	参加者数	会 場
くるくる環境スクール	6月11日(土)	開講式及び 破碎選別工場、市民工房の見学	受講者	17名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[5名]	
	6月26日(日)	環境問題講演会聴講 「(プラザの)これまでの30年間と 未来について思うこと」	受講者	16名	プラザ マルチホール
			[スタッフ]	[11名]	
	7月9日(土)	木工工房体験	受講者	16名	プラザ木工工房 プラザ講義室2
			[スタッフ]	[3名]	
	9月24日(土)	国崎クリーンセンター(ゆめほたる) 環境啓発施設見学と 川西市黒川地区の自然散策	受講者	14名	川西市黒川地区 周辺
			[スタッフ]	[5名]	
	10月8日(土)	① 講義「市民研究所のあゆみ」 講師: 柚山明彦プラザ事務局長 ② 市民研究所チームの体験と 紹介(その1)	受講者	13名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[12名]	

く る く る 環 境 ス ク ー ル ( 続 き )	10月15日(土)	①市民研究所チームの体験と紹介(その2) ②グループワーク SDGsカードゲーム	受講者	11名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[10名]	
	11月12日(土)	万博ごみゼロウォークファイナル 参加	受講者	13名	プラザと 千里万博公園 周辺道路
			[スタッフ]	[15名]	
	12月17日(土)	閉校式と交流会 環境、市民研究所について語る	受講者	13名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[13名]	
計	8回	のべ 受講者数	113名	(7回 97名)	
市 民 研 究 員 研 修 講 座	5月7日(土)	テーマ「これからのごみ処理について」 講師:前田理沙 吹田市環境部環境政策室主任	受講者	17名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[4名]	
	9月3日(土)	テーマ「簡単な動画作成についてII」 講師:黒田勇 主任研究員	受講者	20名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[5名]	
	11月5日(土)	テーマ「伝え上手、伝えられ上手になるには」 講師:谷村綾子 主任研究員	受講者	13名	プラザ講義室2
			[スタッフ]	[6名]	
計	3回	のべ 受講者数	50名	(4回 51名)	
合 計	11回	のべ 受講者数	163名	(11回 148名)	

( )内は前年度

#### ウ. 環境出前講座の実施(自主事業)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、消毒や3密回避の徹底に努めて、施設見学後の体験としてプラザ施設内で実施しました。尚、小中学校の授業・クラブ活動、環境学習等を対象とし、市民研究員が出向く実践講座については要請に基づき実施しました。また大学生を対象とした環境出前講座も実施しました。

実 施 日	内 容	対象者	参加者数	会 場
4月27日(水)	【クラブ支援】 紙パックおもちゃ作り (からくり屏風)	吹田第一 小学校 4~6年生	14名	吹田第一小学校 理科室
5月11日(水)	【施設見学後の体験】 紙パックおもちゃ作り (十字プロペラ)	高野台 小学校 4年生	15名	プラザ講義室2
5月11日(水)	【施設見学後の体験】 紙すき体験	高野台 小学校 4年生	12名	プラザ緑工房
5月12日(木)	【施設見学後の体験】 紙パックおもちゃ作り (十字プロペラ)	東佐井寺 小学校 4年生	20名	プラザ講義室2

5月12日(木)	【施設見学後の体験】 紙すき体験	東佐井寺 小学校 4年生	20名	プラザ緑工房
5月12日(木)	【施設見学後の体験】 ふろしきの活用	東佐井寺 小学校 4年生	17名	プラザ講義室2
5月15日(日)	【くるくるワークショップ】 紙バックおもちゃ作り (からくり屏風)	事前予約の 4才～小学生	14名	プラザマルチホール
5月17日(火)	【施設見学後の体験】 紙バックおもちゃ作り (十字プロペラ)	吹田東 小学校 4年生	17名	プラザ講義室2
5月17日(火)	【施設見学後の体験】 紙すき体験	吹田東 小学校 4年生	13名	プラザ緑工房
5月18日(水)	【施設見学後の体験】 紙バックおもちゃ作り (十字プロペラ)	岸部第一 小学校 4年生	17名	プラザ講義室2
5月18日(水)	【施設見学後の体験】 紙すき体験	岸部第一 小学校 4年生	12名	プラザ緑工房
5月23日(月)	【クラブ支援】 紙バックおもちゃ作り (さいころキューブ)	藤白台 小学校 4～6年生	14名	藤白台小学校 理科室
6月8日(水)	【クラブ支援】 ふろしきの活用	吹田第一 小学校 4～6年生	13名	吹田第一小学校 理科室
6月13日(月)	【授業支援】 古くなったサラダ油を使った 万華鏡作り(オイル万華鏡)	立命館大学 1年生	31名	立命館大学 茨木キャンパス
6月13日(月)	【クラブ支援】 紙すき体験	千里第一 小学校 4～6年生	26名	千里第一小学校 図工教室
6月14日(火)	【施設見学後の体験】 紙バックおもちゃ作り (十字プロペラ)	吹田第一 小学校 4年生	14名	プラザ講義室2
6月14日(火)	【施設見学後の体験】 紙すき体験	吹田第一 小学校 4年生	16名	プラザ緑工房
6月27日(月)	【クラブ支援】 紙バックおもちゃ作り (からくり屏風)	藤白台 小学校 4年生	14名	藤白台小学校 理科室
7月11日(月)	【クラブ支援】 紙バックおもちゃ作り (さいころキューブ)	千里第一 小学校 4～6年生	25名	千里第一小学校 図工室
7月11日(月)	【クラブ支援】 ふろしきの活用	藤白台 小学校 4～6年生	13名	藤白台小学校 理科室



7月16日(土)	【くるくるキッズ環境スクール】 紙パックおもちゃ作り (十字プロペラ)	小学校1年生 ～3年生	11名	プラザ講義室2
7月16日(土)	【くるくるキッズ環境スクール】 ふろしきの活用	小学校1年生 ～3年生	11名	プラザ講義室1
8月18日(木)	【くるくるキッズ環境スクール】 紙すき体験	小学校1年生 ～3年生	10名	プラザ緑工房
8月19日(金)	【環境出前講座】 紙パックおもちゃ作り からくり屏風・レインボーコマ	Inforestすいた 来場者	30名	Inforestすいた
8月21日(日)	【くるくるワークショップ】 紙パックおもちゃ作り (水車ボート)	事前予約の 4才～小学生	15名	プラザマルチホール
9月12日(月)	【クラブ支援】 紙パックおもちゃ作り (マスカレードマスク)	藤白台 小学校 4～6年生	12名	藤白台小学校 理科室
9月12日(月)	【クラブ支援】 ふろしきの活用	千里第一 小学校 4～6年生	26名	千里第一小学校 図工室
9月14日(水)	【クラブ支援】 紙すき体験	吹田第一 小学校 4～6年生	14名	吹田第一小学校 理科室
9月18日(日)	【くるくるワークショップ】 紙パックおもちゃ作り (レーシングカー)	事前予約の 4才～小学生	15名	プラザマルチホール
9月26日(月)	【クラブ支援】 ゴミの12種分別ゲーム	千里第一 小学校 4～6年生	24名	千里第一小学校 図工室
10月12日(水)	【施設見学後の体験】 紙パックおもちゃ作り (十字プロペラ)	柏原東 小学校 5年生	17名	プラザ講義室2
10月12日(水)	【施設見学後の体験】 紙すき体験	柏原東 小学校 5年生	18名	プラザ緑工房
10月14日(金)	【施設見学後の体験】 ふろしきの活用	江坂大池 小学校 4年生	14名	プラザ講義室1
10月14日(金)	【施設見学後の体験】 紙パックおもちゃ作り (十字プロペラ)	江坂大池 小学校 4年生	19名	プラザ講義室2
10月14日(金)	【施設見学後の体験】 紙すき体験	江坂大池 小学校 4年生	20名	プラザ緑工房
10月17日(月)	【クラブ支援】 紙パックおもちゃ作り (マスカレードマスク)	千里第一 小学校 4～6年生	24名	千里第一小学校 図工室

10月19日(水)	【クラブ支援】 SDGsについて考えよう (SDGsカードゲーム)	吹田第一 小学校 4～6年生	13名	吹田第一小学校 理科室
10月23日(日)	【ぐるぐるワークショップ】 紙パックおもちゃ作り (マスカレードマスク)	事前予約の 4才～小学生	15名	プラザマルチホール
10月24日(月)	【クラブ支援】 ごみの12種分別ゲーム	藤白台 小学校 4～6年生	11名	藤白台小学校 理科室
10月25日(火)	【施設見学後の体験】 紙パックおもちゃ作り (十字プロペラ)	吹田第三 小学校 4年生	22名	プラザ講義室2
10月25日(火)	【施設見学後の体験】 紙すき体験	吹田第三 小学校 4年生	22名	プラザ緑工房
10月25日(火)	【施設見学後の体験】 ふるしきの活用	吹田第三 小学校 4年生	17名	プラザ講義室1
11月7日(月)	【クラブ支援】 紙すき体験	藤白台 小学校 4～6年生	13名	藤白台小学校 理科室
11月9日(水)	【クラブ支援】 紙パックおもちゃ作り (からくり屏風)	吹田第一 小学校 4～6年生	12名	吹田第一小学校 理科室
11月19日(土)	【ぐるぐるキッズ環境スクール】 SDGsについて考えよう (SDGsカードゲーム)	小学校 1～3年生	10名	プラザ講義室2
12月11日(日)	【ぐるぐるワークショップ】 紙パックおもちゃ作り (からくり屏風)	事前予約の 4才～小学生	13名	プラザ マルチホール
12月12日(月)	【クラブ支援】 SDGsについて考えよう (SDGsカードゲーム)	千里第一 小学校 4～6年生	26名	千里第一小学校 図工室
12月14日(水)	【クラブ支援】 ふるしきの活用	吹田第一 小学校 4～6年生	9名	吹田第一小学校 理科室
12月19日(月)	【クラブ支援】 紙パックおもちゃ作り (ヘリコプター)	藤白台 小学校 4～6年生	10名	藤白台小学校 理科室
1月11日(水)	【クラブ支援】 SDGsについて考えよう	吹田第一 小学校 4～6年生	10名	吹田第一小学校 理科室
1月13日(金)	【施設見学後の体験】 紙すき体験	千里金蘭大学 1回生	18名	プラザ緑工房
1月23日(月)	【クラブ支援】 紙パックおもちゃ作り (からくり屏風)	千里第一 小学校 4～6年生	24名	千里第一小学校 図工室

1月23日(月)	【クラブ支援】 エコなお買い物ゲーム	藤白台 小学校 4～6年生	12名	藤白台小学校 理科室
2月13日(月)	【クラブ支援】 SDGsについて考えよう	藤白台 小学校 4～6年生	11名	藤白台小学校 理科室
2月22日(水)	【クラブ支援】 紙すき体験	吹田第一 小学校 4～6年生	15名	吹田第一小学校 理科室
2月27日(月)	【クラブ支援】 紙パックおもちゃ作り (2連風車)	千里第一 小学校 4～6年生	26名	千里第一小学校 図工室
2月27日(月)	【クラブ支援】 食品ロスすごろくゲーム	藤白台 小学校 4～6年生	11名	藤白台小学校 理科室
3月12日(日)	【くるくるワークショップ】 紙パックおもちゃ作り (2連風車)	事前予約の 2才～大人	14名	プラザ マルチホール
計	58回		951名	(17回 231名)

( )内は前年度

#### エ. 環境学習発表会及び展示発表会の開催(自主事業)

教室からの発信「広がれ！環境の輪」と題して、小中学校等で取り組まれている環境学習の成果を発表、交流しあう発表会と展示発表会は、新型コロナウイルス感染状況を考慮した上で次のとおり実施しました。尚、メイシアターでの展示は環境教育フェスタと同時開催で行いました。

##### ① 環境学習発表会(動画)

開催日(期間)	開催場所(上映)	参加校数(作品数)	前年度
2月5日(日)	メイシアター1階練習室2	小学校2校(10作品) 高校1校(1作品)	小学校3校 高校1校
2月5日(日)～3月31日(金)	くるくるプラザホームページ(WEB)		

##### ② 環境学習展示発表会

開催日(期間)	開催場所(展示)	参加校数(作品数)	前年度
2月5日(日)	メイシアター1階展示ロビー	小学校8校(90作品)	—
2月15日(水)～2月19日(日)	くるくるプラザマルチホール		

#### オ. 職場体験・大学関係等の支援(自主事業)

吹田市立中学校・インターンシップ学生の受入れ状況は次のとおりでした。

区分	期 間	学校名	人数	内 容
イ ン タ ー ン シ ッ プ	7月12日(火)	大阪大学大学院	1名	自転車工房で作業補助体験
	8月12日(金) ～21日(日)	大阪経済大学	1名	施設見学後、緑工房での紙すき体験 の意義と具体的手順の説明用パネル 作成他、事務局業務の補助作業
合 計		2校	2名	( - )

( )内は前年度

2. 収益事業等として、次の事業を実施しました。(収1)

吹田市との基本協定に基づく受託事業のうち、吹田市資源リサイクルセンターに関する管理運営業務を、次のとおり実施しました。

(1) 施設の管理運営

ア. 貸室の使用の許可、使用料の徴収及び施設ホームページの管理に関する業務(受託事業)

貸室の使用の許可、使用料の徴収及び施設ホームページの管理に関する業務を行いました。使用件数、利用者数及び使用料の徴収額は下記のとおりでした。

開館日数	使用件数	利用者数	使用料徴収額	前年度			
				開館日数	使用件数	利用者数	使用料徴収額
292日	605件	13,049名	466,950円	247日	454件	8,133名	424,100円

イ. 建物部分及び貸与備品等の管理業務(受託事業)

指定された建物部分及び貸与備品等の管理業務を行いました。

管理事業(法人会計)

(1) 財団の管理運営業務(自主事業)

次期(令和9年～)の当施設の指定管理者選定について、当財団が十分な実力を兼ね備える存在として認知され信任に足ることを目的とし、管理運営能力の向上に努めるための取組みを実施しました。

ア. 環境助成金獲得事業

助成金プログラム名称	応募日	応募事業名と申請助成額	審査方法	
			審査結果	
『TOYO TIRE グループ環境保護基金』	9月29日(木)	環境に係る子ども向け学習啓発事業	書類審査のみ	
		150万円	不可	
第14回「阪急阪神未来のゆめ・まち基金」	10月12日(水)	マイ食器持参運動推進と携帯マイ食器の開発	1次審査(書類)	2次審査(プレゼン)
		50万円	通過	不可

上記以外に、JICAの環境問題研修で当施設の見学を実施している(公財)地球環境センターに、協働の実現可能性や必要とされる資質や能力に関して聞取調査を行いました。JICAに有償提供できる付加価値の高い見学コース開発を目指していますが、その前提として環境に係る専門知識の向上はもとより、英語での説明能力や破碎選別工場、資源循環エネルギーセンター、吹田市環境部との連携が必須であり、実現の可否についてさらに検討を進めます。

イ. 30周年記念誌発行

6月26日(日)に財団設立30周年記念式典が開催され、当財団の歴史や沿革を辿る30周年記念誌を作成し関係先に配付しました。

ウ. 職員研修

本年度より、プラザ職員の環境に係る専門知識の獲得や対応能力向上を図るため、計画的に事務局職員の環境社会検定試験(エコ検定)受験を推進し、本年度は2名の職員が同資格を取得しました。

## エ. 財団名称変更

当財団名称の変更については、これから将来に亘って財団が担うべき重責や果たすべき役割を想起する名称を付する必要がある、十分に時間をかけてステークホルダーや関係各位からの意見聴取を進める準備を始めました。また吹田市の施設である資源リサイクルセンターの名称変更や施設の有効活用のための貸室の指定や取扱変更等に係る吹田市資源リサイクルセンター条例の改正も、時期を同じくして実施いただくことが望ましく、吹田市に継続して要望させていただきました。

## 附属明細書

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補則する重要な事項」がないので作成しません。